

# ワクワク考古楽学習指導案

日 時 令和3年10月6日(水) 2校時  
 対 象 錦江町立神川小学校5年生12名  
 授業者 鹿児島県立埋蔵文化財センター  
 調査課第一調査係  
 徳永 智明 (T1)  
 山下 勘郎 (T2)

## 1 目標

発掘調査成果を中心に、遺跡や文化財、資料等を活用して、歴史を学ぶ意義を考えるとともに、自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史や先人たちの暮らしについて理解と関心を深めるようにする。

## 2 実際

過程	活動内容	時間	センター職員の指導及び支援内容	役割	準備・留意点等
導 入	1 埋蔵文化財センターの仕事内容を知る。	3分	1 発掘調査に用いる道具等を紹介しながら説明する。	T2	○ ヘルメット・ジョレン・移植ごて等を持参
	2 本時の学習内容を知る。		2 本時の学習内容を提示する。	T2	
わたしたちの地域にある遺跡や文化財について知ろう。					
展 開	3 始良カルデラ・阿多カルデラの噴火による神川小学校周辺の地形の特徴について知る。	5分	3 始良カルデラや阿多カルデラの噴火の影響等を紹介する。	T1	○ PC・プレゼンテーションソフトを準備
	4 神川小学校周辺の土地利用や農作物の作付等について考える。	5分	4 神川小学校周辺がカルデラの外輪山にあたり、急峻な地形で平野が少なく、稲作より畑作が多い土地利用となっていることに気付かせる。	T2	
	5 土器に触れ観察することで、埋蔵文化財や遺跡等に興味をもつとともに、観察して気付いたことを発表する。	17分	5 土器をスケッチさせることで感触や重さ等を体感させるとともに、実際の報告書に記載するときには、実測することを紹介する。	T1 T2	○ ルーペを準備
終 末	6 山ノ口式土器等の出土遺物とおして、山ノ口遺跡について理解を深める。	10分	6 神川小学校周辺の遺跡を紹介することで、身近な地域の歴史に興味をもたせる。	T1	○ 山ノ口遺跡と同時期に出土した山ノ口式土器を持参
	6 埋蔵文化財センターの役割を知る。	5分	6 埋蔵文化財センターの役割に再度触れることで、本時のまとめとする。	T1	○ 動画を準備 ○ 報告書

## 3 評価

地域にある文化財や資料から、歴史を学ぶ意義を考え、自分たちの生活の歴史的背景や先人たちの暮らしについて理解を深めることができたか。